

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.1.25

企業・学生・大学の関係者にとってより良い インターンシップとは何かを考えよう

平成29年1月25日(水)企業・学生・大学の関係者にとってより良いインターンシップとは何かを考えようをテーマに、岐阜大学生、企業、大学関係者など23名が参加して、第9回フューチャーセンターを開催しました。関係者にとってインターンシップに求めているものは様々ですが、利害関係者が集まって、働くことに関して考え、インターンシップの課題を共有し、より良いインターンシップに関する議論を行いました。

当日は「企業側も学生の目的と状況を理解することが大切である」「学生はインターンシップに取り組む際の目的意識、終了後今後の活動に向けて目標設定が必要である」等の意見が出されました。

地域協学センターではこのフューチャーセンターで出た意見を、大学でのインターンシップのあり方を検討する際の参考にするとともに、インターンシップ関連科目のより良い運営に生かしていきます。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

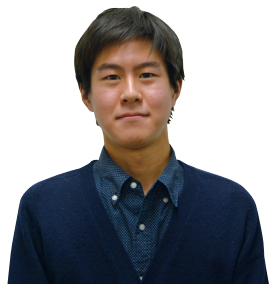
- 企業側も学生も目的意識を共有することが大切である
- 企業側も学生の現状を理解して、試行錯誤を重ねている状況である
- 学生も起業への事前調査や、取組み時の目的意識、終了後の目標設定が大切である
- 今後も改善を重ねてより良いインターンシッププログラムを設計する必要がある

本音から浮かび上がる問題点

岐阜大学工学部1年

小川 将人 さん

学生を受け入れている企業や団体の方々の、インターンシップに対する本音を聞くことが出来ました。インターンシップの多様化によって、大学を含む三者の目的や利害についての認識が噛み合わなくなっていると感じました。何のために実施するのかを、前もって互いに確認することが良いインターンシップにとって重要だと考えました。



よりよいインターンシップを目指して

大垣共立銀行

後藤 雅典 さん

関係者それぞれにとって、インターンシップに求めるものは異なります。今回の各セッションを通じて、各関係者の目的を理解し共有することの大切さを再認識しました。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3168
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-3167
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点